

教科目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を養う。

1 学期 主な学習内容（1 1 時間）	2 学期 主な学習内容（1 5 時間）	3 学期 主な学習内容（9 時間）
歌唱 「花」（4時間） 学年合唱「大地讃頌」（3時間） 鑑賞 「歌舞伎」（2時間） 合唱コンクール選曲（1時間） 楽典 音符、休符、階名、音名、コードネーム、譜表、いろいろな記号（1 時間）	歌唱 学年合唱「大地讃頌」（5時間） 鑑賞 「ブルタバ」（2 時間） 「ボレロ」（1時間） 楽典 音符、休符、階名、音名、コードネーム、譜表、いろいろな記号（1 時間） 和楽器 箏（4時間） 創作 カトカトーン（2時間）	歌唱 合唱祭の取り組み（4時間） 卒業式合唱・校歌斉唱（3時間） 鑑賞 「西洋音楽史」（1 時間） 楽典 音符、休符、階名、音名、コードネーム譜表、いろいろな記号（1 時間）

評価の観点と規準（各観点の割合は、全て達成率 100%で統一する。）

評価の観点（1学期より抜粋）		評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定（行動目標）
I 知識・技能	「花」 歌詞や音程をしっかりと、リズム正しく歌うことができる。	【全教科共通】 ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・実技テスト	- 定期テストは知識、技能に関する問題において、定着率を評価する。 - 実技テストはA, B, Cで評価する。 A=音程やリズムが正確にとれ、歌詞をしっかりと覚えて歌う事ができている B=少し間違えても曲の半分以上は歌えている C=音程がとれていなく、歌詞を忘れている で表記する。
	「花」 色々な記号を理解し、実際に歌で表現することができる。	【全教科共通】 ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・実技テスト ・鑑賞プリント ・提出物	- 定期テストは思考、判断力、表現力に関する問題において、定着率を評価する。 - 実技テストはA, B, Cで評価する。 <u>楽譜に書いてある表現記号を意識し、表現豊かに演奏できているか</u> A=曲の特徴や自己のイメージを音楽で十分に表現できている。 B=曲の特徴や自己のイメージを表現しようとしている C=曲の特徴や自己のイメージが全く感じられない演奏である で表記する。 鑑賞プリントは5段階で評価する。 5= 曲想、音楽の構造、背景、作曲者など、3つ以上の視点で感想を十分に記述している 4=2つ以上の視点で感想を8割程度記述している 3=課された課題の半分未満、感想を記述している。 2=感想が一言しか書かれていない 1=感想が白紙 (5点以上) で表記する。
III 主体的に学習に取り組む態度	「花」 姿勢正しく、大きな声ではきはきと発音して歌うことができる。	【全教科共通】 ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 【各教科の方法・資料】 ・提出物 ・授業観察 ・定期考査 ・実技テスト	【全教科共通】 ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 【各教科 独自の方法】 ・実技テストはA, B, Cで評価する。 A=良い姿勢で工夫しながら、歌っている B=ある程度、聞こえる声で歌っている C=聞き取れない位の声で歌っている で表記する。